

## いきすだま～生霊～ (2001)

メディア 映画

ジャンル ホラー

製作国 日本

色彩 Color

時間 118分

初公開日 2001/06/23

公開情報 東映ビデオ株式会社

## 【キャッチコピー】

その声は誰にも届かない。

## 【解説】

マンガ家のささやななえこが自身や友人の体験談をベースにしたベストセラー・コミック（角川ホラー文庫）の映画化。主演は韓国で“Y2K”として人気を集め、日本では“DOGGY BAG”の名前でデビューした松尾雄一・光次の兄弟。共演は「発狂する唇」の三輪ひとみと「ラブ&ポップ」でデビューした三輪明日美の姉妹。

第1話『生霊（いきすだま）』。ある日、同級生の浅茅を同時刻に違う場所で目撃したという級友たちから「浅茅の生霊じゃないか」という噂が立つ。そんな噂を否定する良二は恋人がいるにも関わらず、次第に浅茅への感情が恋心へと変化して行く事に戸惑いを感じていた。しかしクラスメートが見ても奇妙なくらい良二にまとわりつく浅茅に不信感を抱き始めた時、良二は兄弟のライブ会場で病気のために家で寝ているはずの浅茅の姿を目撃してしまうのだった……。第2話『空ほ石の（うつほいしの）…』。一彦がある日、姉のマンションを写真に撮っているとそのマンションの505号室に引っ越してきた一彦と同じ学校の転校生、菜穂子とその家族に遭遇する。菜穂子は団地の写真を撮る一彦を不思議に思い、翌日同じクラスとなった一彦に昨日の件を聞いてみるが、一彦は「誰にもしゃべるな」、「あその団地は気を付けたほうがいい」と言う。不審に思う菜穂子だったが、そのマンションは飛び降り自殺の多い団地として有名で、105、205、305号室と自殺、事故が相次いで起こっていたのだった……。

## 【クレジット】

監督 池田敏春

エグゼクティブプロデューサー 黒澤満

プロデューサー 中川好久

プロデューサー 結城良熙  
久保田雅美

原作 ささやななえこ

角川ホラー文庫・刊『生霊』 「生霊」  
「空ほ石の…」より

脚本 尾崎将也

山口セツ

撮影 田口晴久

視覚効果 橋本満明

特殊メイク 若狭新一

美術 西村徹

編集 川島章正

音楽 吉良知彦

音楽協力 ポリドール

照明	井上幸男			
録音	林大輔			
出演	松尾雄一	吉野一彦	(DOGGY BAG)	
	松尾光次	吉野良二	(DOGGY BAG)	
	三輪ひとみ	浅茅優子		
	三輪明日美	仲田菜穂子		
	中村由真	吉野恭子		
	広岡由里子	仲田君江		
	柱亜沙美	武見亜子		
	鮎瀬梢	倉本真理子		
	藤井真喜子	白井和美		
	大沢樹生	医師		
		DOGGY BAG	DOGGY BAG	